

会 議 録

会 議 名	令和5年度 第3回東浦町部活動の地域移行推進協議会	
開 催 日 時	令和5年10月25日(水) 午後7時から午後8時まで	
開 催 場 所	はなのき会館 研修室	
出 席 者	委 員	二宮 立美 氏 (会長)、平野 俊之 氏 (副会長)、 坂部 博幸 氏、二村 圭史 氏、岩尾 由起男 氏、 廣瀬 恵 氏、新美 佳三 氏、長坂 恒幸 氏、浅 田 潤一 氏
	事務局	横井教育部長、畔上学校教育課長、松尾学校教育課主 幹兼指導主事、瀬之口学校教育課統括課長補佐兼指 導主事、佐東生涯学習課長、関生涯学習課長補佐、近 藤生涯学習課主事、杉浦スポーツ課長、永井スポーツ 課統括課長補佐、重野スポーツ課係長、
議 題 (公開又は非公開の別)	1 報告事項 ・「ひがしうら地域クラブ」活動(5クラブ)の現状について ・指導者(代表者)、会員アンケート調査結果について ・「ひがしうら地域クラブ」追加立ち上げ種目について	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)		
傍 聴 者 の 数	2名	
審 議 内 容 (概 要)	委員の出席及び会議の成立を確認 傍聴者の確認及び傍聴の許可 議題の審議内容等は、別紙のとおり	
備 考		

1 会長あいさつ

2 議題1 報告事項

- 事務局・・・ ① この協議会、昨年度から始まりまして、1年間いろいろとご相談に乗っていただき誠にありがとうございました。そのご協力のおかげで9月から活動をスタートすることができました。今、お見えになる委員の皆様のご委嘱期間10月31日をもって終了となりますので、これまで9月からの活動の様子を報告させていただきます。まず資料1をご覧ください。東浦町地域クラブ5クラブの現状についてです。1のとおり、9月からサッカー指導者10名、バスケットボール指導者7名、ハンドボール指導者15名、剣道指導者7名、柔道指導者12名でスタートを切りました。
- 2は実際に活動した日付になっています。9月開始時点での会員数83名で、それぞれにクラブに何名参加したか人数を具体的に書かせていただいています。
- 3の下の方ですが、活動視察ということで、スタートしてから活動の様子を見るために、できる限り事務局も活動場所に足を運ぶようにしてきました。部活動の大会等や学校行事で変動はありましたが、毎週末50名弱の参加がある状態です。会員に参加した動機を確認すると、「新たなスポーツにチャレンジしたい」という会員や「過去に取り組んでいたスポーツに再チャレンジしたい」という会員がいました。実際に、ハンドボールは部活動としては東浦中学校にしかありませんが、北部中学校や西部中学校の会員もハンドボールクラブに参加しています。サッカークラブにも、普段は違う部活動で活動している会員が参加しています。バスケットボールクラブにも、北部中学校に男子部はありませんが、北部中学校の男子会員も参加しています。また、部活動の補填として参加している生徒やクラブチームの試合のウォーミングアップとして使っている会員もいました。聞くと、午後から大会がある会員が、最終調整を指導者の方々にしてもらうために参加したなど、様々な利用の仕方をしている様子が伺えました。地域クラブの方針としても、様々なニーズに応えていくということを大切にしているので、それを叶えることができていると感じています。
- また、先ほども述べましたが、9月～10月はイベントが多かったため、参加人数には大きな変動がありましたが、学校の部活動が実施されない期間にも、活動に参加する会員がいました。まだまだ少人数ではありますが、「自分で過ごし方を選択する」という国の方針を体現する姿だと思います。スポーツ科学的にも、運動を行うことで脳の働

きも良くなるということも聞いているので、部活動だけではできない部分を補うことで切れ目のない活動機会を提供できるようになり、地域クラブを立ち上げた価値だと考えています。

3に戻りまして、9月には、お試し入会ということで9月分の500円のみを払って活動できるという制度も取り入れていました。実際にお試しで500円だけ払って参加した会員が19名いました。その内、10月以降もそのまま継続した会員が17名でした。2名は退会したのでゼロではないのですが、基本的に500円で参加してくれた子は「本当に自分に合うのかな」とか「この活動が自分のためになるのかな」と、不安を感じながら参加した子だと思うので、8割以上の子が継続を希望したということで、指導者の方々の努力もありますが、およそこの地域クラブの価値を感じてもらえたのだと考えています。

最後の「今後の課題」ですが、今年度は試行的に月額500円で運営しています。今後、追加でクラブも立ち上げていくので、来年度の参加料については、クラブ数と参加数等のバランスを見て増額させる必要も出てきます。そのため、できる限り会員に安価な参加料で入会してもらうためには、今一律3名まで報酬を支払っていますが、参加者数の平均的に見て指導者を絶対3名ではなく2名にするとか、方針に反してしまうのかもしれませんが、参加者が見込めなさそうなときは、こちらから活動の自粛をお願いをするようなことも考えながら、できるだけ負担のないクラブ活動をしていくことを今後も考えながら検討をしていかなければいけないと思っています。細かい各クラブ活動の様子については、次は「資料2」で説明をしたいと思います。

会長・・・

「資料1」について、質問等があればお願いします。

委員・・・

立ち上げ前の予想というところで、各クラブ50パーセントくらい参加するだろうという見込みがあったと思いますが、この資料1からだと、実際にそれぞれのクラブに何人の生徒が入ったのかというところが分からないので教えてもらいたい。また、同じ子が毎回来ているのか、それとも登録だけして来ない子がいるのかというところの参加の状況について、確認したいです。

事務局・・・

会員は83名で、どこのクラブにも参加できるので、このクラブに何人登録があるかということがはっきりしていません。登録時に「どこのクラブに参加する予定ですか。」と聞いた結果で言うと、もともと昨年度参加料無料の条件で実施したアンケートで、およそ地域クラブ

に入りたいという子が50%程度でした。また、先行研究などで先に活動しているクラブの実態を見ると、3割程度になるだろうということが予想されましたが、「ひがしうら地域クラブ」も3割から4割ぐらいの子が入っている状態です。

次に、そのずっと来ている子と来ない子がいるかという問いについては、クラブによってまだ大会の多いクラブもあるため、同じ会員が頻繁に参加しているクラブもあれば、今は参加者が少ないクラブもある現状です。また、それは後ほど資料2で詳しく伝えます。

会長・・・

では、次に資料2の説明をお願いします。

事務局・・・

活動が始まった9月から1か月程経過10月5日～16日に地域クラブの指導者（代表者）と会員にアンケート調査を行いました。まず、指導者の代表の方々の回答についてですが、サッカー、バスケットボール、ハンドボール、剣道、柔道の順番に載せていただいております。この中で、共通している部分を先に言うと、「(1) 会員の様子について」の「よい点」です。話を聞く姿勢や取り組む姿勢がしっかりしていて、指導しやすく問題ないという意見が多くありました。

活動開始前に指導者と打ち合わせを行ったときには、「学校の教員ではないので、言うことを聞いてもらえず、安全の確保ができない状況が出るのではないかと心配する声も、実際に指導者から出ていました。また、先行的に実施している市町のアンケートで、教員なしで生徒たちを指導することに苦労しているということが報告されているものもあったため、事務局も心配していた部分ではありました。しかし、「ひがしうら地域クラブ」では、指導者の尽力や日頃の教育等のおかげで生徒に学ぶ姿勢ができており、問題なく運営ができています。地域と連携していくための土台が、この東浦町ではできているということを感じています。また、「(4) の活動日時や活動場所、用具等について」の「よい点」で、充実していて問題ないという意見が多くありました。

昨年度から協議する中で、用具の準備については予算的に大きな課題でしたが、中学校が用具を共有してくれたことや事務局もできるだけ活動場所に足を運び、指導者の要望に対応してきたことで、良い評価をもらっていると認識しています。この先、まだまだ課題は出てくるとは思いますが、これらのことから段階としては、指導者にも会員にも、ある程度満足してもらえ環境が提供はできているのではないかと考えています。

ここからクラブごとに見ていきます。まずサッカーです。

「(1) 会員の様子について」の「気になる点」のところに記載がありますが、「資料1」でも、サッカーは最初11名ほど参加がありましたが、その後1ケタの参加者数が続いていて、指導者も少人数での指導に苦勞をしている現状があります。大会等への参加や行事などが重なっているところが多く、参加数が伸び悩んでいるのではないかと推測しています。今のところ、退会する会員はあまり出ていないですし、11月頃から大会などが一旦落ち着いて、部活動も活動の時間が減ってくると聞いているので、現状なかなか参加者数が伸びていませんが、会員もその辺りも踏まえて、会員として残っているのではないかと考えています。この先の11月以降の様子も見ながら、活動の方針を考えていきたいと思えます。

次に、バスケットボールです。ハンドボールもまとめてとなりますが、多くの会員が参加をして活動ができています。また、ハンドボールは部活動が東浦中学校にしかありませんが、北部中学校や西部中学校の会員も参加しているため、とても充実していると感じています。そのため、「(3) の活動内容について」の「気になる点」にあるように、バスケットボールやハンドボールは活動が充実している分、練習試合等で成果を発揮する場がほしいという要望が早くも出てきている状態です。懸念点としては、学校の施設で活動しているため他市町の生徒を呼ぶことを学校に許可してもらえるかや相手の活動場所を移動するときの保険、練習試合目的ではない会員の活動を保障できるか、といったいろいろな懸念点があります。しかし、もう一つの目標としている「競技力向上を目指すチーム」の設立に向けて、見込みがある状況だと思うので、指導者とも相談して、試行的に行っていけるとよいと考えています。

また、ハンドボールでは、「(4) 活動日時、活動場所、用具等について」の「よい点」で、活動日・場所等が固定されているのがよいという評価をもらっています。これにはデメリットとメリットがあると思います。会場や日時を変えることで、新規の参加者が見込めたり、一部の会員にとっては負担の軽減につながったりすると思います。一方で、複数の指導者を確保する必要があるという部分では、曜日が指定されていると代表者としては指導者が確保しやすく、会員にとっても必ずこの曜日ということが分かるので、予定が立てやすいということがあります。まずは、安定した活動を提供することを重視して、固定を選択して運営しています。これについても、今の段階の運営としては指導者からよい評価がもらえています。

次に、剣道クラブです。「(3)の活動内容について」の「よい点」です。この「良い点」のところに、指導者の運営方針、練習メニュー等を作成し、他の指導者と連携を取っており、それが円滑な活動につながっている、という意見があります。これは、バスケットボールクラブでも同様に行っています。代表者の方々が方針や考え方、練習メニューをまとめて他の指導者様と連携を図っています。このような努力のおかげで、運営が順調に進んでいるということで感謝しています。また、強制はできませんが、今後運営に困るクラブ等が出てきた場合は、「こういうふうに行っているクラブがある」と紹介していきたいと思います。また、(4)の活動場所についてです。剣道は用具が多いため、送り迎えをしている会員もいます。防具を貸し出せるように準備をしていますが、実際やってみると、剣道に参加している会員は自分で防具を持っている子が多く、最初は学校の防具を使おうとした会員もいたのですが、他の会員から「やめた方がいい」という声が上がってしまって、学校から借りている防具を使う会員がおらず、現状各自が持ってきている状態になっています。先ほどハンドボールで活動が固定されているのが良いという意見もありましたが、これに関しては、指導者の方からも同様の意見が出ていますので、ゆくゆくは相談しつつ、活動場所を変えて複数個所で実施をする最初のクラブとして剣道がなっていくことも想定しています。

最後です。柔道クラブです。柔道クラブの現状としては、北部中学校の生徒だけが参加している状況です。参加者数自体も少なく、1桁が続いています。部活動としては、柔道部は北部中学校だけ、ハンドボールは東浦中学校だけしか残っていません。このまま少子化が進んで廃部となる前に、地域クラブのように合同で活動できる場を作らなければいけないと思って立ち上げましたが、現状のところは参加者数が少ないです。指導者の方から話を聞くと、柔道の場合、小学校ではいろいろな学校の子が柔道をやっている、中学校になると、部活動が北部中しかないためやめてしまう現状があるそうです。よって、来年度の中学1年生が、地域クラブがあることで、今柔道に取り組んでいる子がそのまま中学校でも継続したり、部活動と併用して継続したりするという動きが発生するとよいと考えています。そして、地域クラブが活性化し、柔道の裾野も広がるとよいということで、来年度に期待したいところです。また指導者からも(2)で、参加者数は少ないですが、参加者数と指導者数のバランスがよく、きめ細やかな指導ができていると、活動が充実しているという意見をもらっています。

次に、会員アンケート調査の結果についてです。会員 83 名にアンケートの依頼をし、回答があったのが 30 件です。クラブを始める前のアンケート調査で、「自分たちの意見が届けられるような場はあるのか」、「自分たちの声を聞いてもらえる場があるのか」という心配の声もあったので、アンケート調査を実施しました。回答がない会員については、無記名で自由に書けるアンケートでも反応がないということで、目立ってこちらに伝えるべきことが今はまだ生まれておらず、想定内の活動ができていると見込んでいます。30 件の回答を分析していくと、まず、(1)「所属校」では、①西部中学校・②北部中学校・③東浦中学校、全中学校から回答があり、割合は 1 : 2 : 3 で、会員数の割合と同じ程度になっていることが分かります。(2)「学年」では、1 年生 2 年生で半々、(3)「性別」では、男女で半々となっていることが分かります。(4)「参加クラブ」でも、5 クラブすべての方から意見が出ていることが分かるため、極端に偏った結果になっていないと思っています。(5)「入会した目的」を見ると、「スポーツを楽しむため」が 16、「新しいスポーツにチャレンジするため」が 4、「健康の保持増進」が 12、「普段取り組んでいるスポーツ（部活動等）の補填にするため」が 21 でした。その他の内容が (6) にありますが、大体活動の補填と同じ内容になるのかと思います。そうすると、大体「部活動等の補填」として参加してる会員が半数、「楽しむため」や「健康の保持増進」で参加している会員が半数でした。この結果からも、さまざまな目的をもって参加している会員がいることが分かります。次に、(7)「入会を決めた理由」についてです。一番多かったのが「活動場所が学校施設だから」で 21 でした。会員にとって近かったり、使い慣れている場所であるということが活動の安心感を生んでいるということが分かりました。次に多かったのが、「出欠連絡等が不要で気軽にアクセスできるクラブだから」で 16 でした。先ほど述べたように、半分は部活動の継続的なポジションとして地域クラブを活用していますが、このように気軽に参加できることにも、大きな需要があるということがこの結果からも分かるので、そういう会員にも今後も参加を継続してもらえるようなクラブにしていくことが大切だと考えています。(8) その他は「部活動の継続として」という意見が多かったです。(9) の「指導者」についてです。「よい点」としては、まとめると「優しく、楽しく教えてもらえる」とこと、「専門的な知識がある方に複数人で教えてもらえる」ところに、会員は「良い点」を感じるということが分かります。また、「気になる点」については細かく見ていきますが、最初の「指導者のご負担にならな

いか心配です」は、とてもありがたい意見なので問題点はないと思います。「自由練習が欲しい」という意見がありますが、これも素晴らしい意見だと思います。基本的には会員から「こういう練習がしたい」とか、「こういうふうにやりたい」という意見が出てくるとよいですが、最初ですので、会員が戸惑わないように、どのクラブも指導者がメニューを出して活動していることが多いです。ただ、すでに自由にしてほしいというような意見も出てきているので、この結果も指導者に伝えながら、さらに参加者のニーズに合わせた活動にしていけるとよいと思っています。最後に「指導者によって楽しかったり、そうじゃなかったりする」という意見についてです。これも悪い取り方をするとそうなりますが、逆に言うと、あるクラブチームなどにそのまま地域クラブをお願いしていたら、その方の方針に合わないという即退会ということになってしまいます。今の「ひがしうら地域クラブ」は、いろんな方々に集ってもらい、交代で指導をしているため、様々な考え方が提供でき、即退会というような事態も防ぐことができるのではないかと考えています。(10)「活動内容」についての「良い点」です。「第三者がいることで自分に気づかないことに気づける」「部活動とは違う練習ができる」「初心者でも楽しめるメニューで入会したことを喜んでます」という回答で、地域クラブの方針の利点をよく感じてくれていてうれしく思います。「気になる点」では、「自分自身を撮影してダメなところを確認したい」とありますが、これは、クラブ活動中は携帯電話を使わないようにしているクラブもあるので、そこに対して自分がこうやりたいという意見が出てきているということだと思います。2つ目の「人数が少なくつまらない」というのは、サッカーの活動のところで意見をもらっています。参加している会員が少人数でなかなか幅広くメニューをこなせないということで、この状況が続いてしまってモチベーションが下がっていくことを危惧していますが、11月くらいから大会や学校行事が落ち着いて、参加者数が伸びていくことを期待しています。次に、「男女が一緒みたいで思っきりできないこと」については、こういう意見が出ないようにしなければいけないと思っています。保健体育の授業でも男女共習が進んでいる中ですし、国の方針としても生涯学習的にも誰とでもスポーツが楽しめるということがとても大切になってくると考えています。

東浦町は、今でも保健体育の授業が男女別習で行われていることが多いので、この「ひがしうら地域クラブ」で男女が一緒になって活動しても、別の楽しみ方ができることを学んでほしいと思います。ここは

影響を受けずに行きたいと思います。最後の意見も「厳しさも欲しい」ということで、前向きな意見をもらっています。

(11)の活動環境についてです。まとめると「気軽さ」や「遅刻をしても大丈夫」なところや「用具を持ってなくても活動ができる。」というところにメリットを感じてくれています。基本的に用具は個人持ちとしていますが、できるだけ負担がないように学校に協力してもらって運営しています。今後、クラブを立ち上げるときにも、極力用具をもっていなくても参加できるようにしていきたいとは思っているので、また学校には協力してもらうこととなりますが、よろしく願います。「気になる点」についてです。ここを見ると、やはり先ほど述べた剣道の活動で、「移動の面で負担が大きいです。」という意見や夏場の暑さを心配する意見があります。今年は9月からだったので、一番危険なところは通り過ぎた後だったのですが、来年度は8月中なども運営していくことになるので、熱中症等を心配する意見があります。今のところは、活動時間を短縮するなどして対応していこうと考えていますが、また、対策案があれば伺えれば幸いです。最後の(12)です。「ひがしうら地域クラブについてご意見があれば自由に」ということでいろいろと意見をもらっています。意見としては今まで話題にあったことが多く、練習試合についてとか、活動場所について、種目を増やしてほしいなどがありました。また「もっとたくさんの人に参加してもらえるように、登録せずに一度体験できるといいと思う」「とても良い活動なので是非、継続してほしい。野球やテニスもやってほしい」といった意見もありました。9月に開始したときは、まだ活動がなかったので、活動を見てもらうことができませんでしたが、今は実際に活動しているので、また、近々募集をかけるときには、様子を見に来てくださいということも強調して募集をかけていくことも大切だと感じています。

会長・・・

それでは、質問等があったらお願いします。

委員・・・

今は参加者と指導者の意見ということでアンケート調査されたと思いますが、学校側からの何らかの意見は来ていますか。例えば、使用状態が悪いとか良いとか、何かそういう情報提供があればお願いします。

事務局・・・

学校に対しては、アンケート調査は実施しておりません。

- 委員・・・ 自分は必要だと思っています。「ひがしうら地域クラブ」が使っていて、指導者が使い方はいいと思っても、実は学校サイドからは悪いって思われている可能性もありますので、そういった情報をもらえると分かるし、そういうのがないと、学校施設を借りている以上は、いくら地域クラブだとはいえ、使い方に問題がある状態が続けてしまうのは本意ではないので、教えてもらえると助かります。
- 事務局・・・ 事務局としては、各学校の校務主任の先生に、様子は口頭で毎回確認していますが、アンケートとしては行っていなかったのも、今、校長先生方にも参加してもらっているのも、もし、何か耳に入っていることで気になっていることがありましたら、お願いします。
- 委員・・・ 特に問題ないです。あればすぐに言いますので。
- オブザーバー・・・ 北部中学校も全くないです。
- 事務局・・・ 我々も極力早い段階で把握できるように連絡を密にとっていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。
- 会長・・・ 資料3の説明をお願いします。
- 事務局・・・ 資料3「ひがしうら地域クラブ」追加立ち上げ種目についてです。令和6年の1月から追加でクラブを立ち上げる予定です。スポーツでは軟式野球、バレーボール、卓球、文化活動では吹奏楽を追加で立ち上げられるように準備を進めています。2つ目の○には、現時点での指導者数や活動場所・活動日時の予定を記載しています。軟式野球の活動場所は北部中学校のグラウンドで、土曜日の午前中に行いたいと考えて進めています。バレーボールクラブは、北部中学校の体育館で土曜日の午前中に行き、卓球クラブは、東浦中学校の飛翔館で日曜日の午前中に行う想定をしています。吹奏楽に関しては、楽器の運搬の課題があるので、各中学校の音楽室もしくは多目的室で行う予定です。活動日時等は未定になっていますが、吹奏楽クラブについて補足があれば、お願いします。
- 事務局・・・ 吹奏楽について補足します。現在、三つの中学校で活動を目指して指導者を確保しているところです。今日現在16名集まっており、もう少し増える想定です。3中学校でやりますので、今のところ考えてい

るのは、その16名ないしもう少し増えた指導者の方々を、それぞれの学校に張り付きの形を考えています。1中学校につき4～5名ぐらいの指導者で、お願いしたいと思っています。また、活動日時については、まだこれから詰めていくところではありますが、事務局の希望としては土曜日を想定しています。

事務局・・・ 続けます。今後確認したいことについてです。スポーツのクラブだけで載せていますが、共有可能な物品として、貸してもらえると、活動がスムーズに行える物品の一覧を載せています。また、各学校に調査の方を依頼し、打ち合わせ等も行いたいと思いますので、よろしくお願いします。更衣室ですが、軟式野球クラブは、プール下の倉庫を更衣室として貸してもらえることになっています。バレーボールクラブは柔道クラブで使用している道場の更衣室を共有で使う予定です。卓球クラブは、他のクラブと同じグラウンドの外倉庫を使います。必要な鍵も載せました。鍵の複製等で学校に鍵を借用させてもらうことになりますので、よろしくお願いします。次に、吹奏楽のセキュリティ対策についてです。こちらについては生涯学習課から説明します。

事務局・・・ 吹奏楽の活動については、学校校舎内を利用することから、セキュリティ対策を必須ということで話が以前から出ていました。現在の各中学校で、活動場所に近い出入口を設け、そこが吹奏楽の専用出入口ということで設定していこうと考えています。各活動場所と最寄りのトイレのみ立ち入れるように、防犯装置セコムを設定することを想定しています。セコムの解除、それから専用出入口の施錠解除は指導者に行ってもらう予定です。

事務局・・・ 今後の予定です。指導者はそれぞれ増えていますので、まだ講習会を受けてない方々には、11月19日（日）に第3回の指導者養成講習会を開催予定ですので、そこで受講をしてもらいます。その後、スポーツクラブについては11月の下旬、吹奏楽については指導者養成講習会終了後に、それぞれのクラブの方々に集ってもらい、説明会を実施する予定です。その後、12月の上旬から下旬にかけて新規4クラブと今ある5クラブを含めて、学校に協力してもらいながら、再度会員募集を行っていきたいと思います。令和6年の1月、新しいクラブに関しては、1月13日、2週目の土曜日からスタートをしていきたいと考えています。

- 会長・・・ はい、資料3について何か質問ありますか。
- 委員・・・ 根本的な話になりますが、活動場所について先ほどの資料2でも、「活動場所が遠い」という意見があったり、「持ち回りにするか」という意見があったりしていたので、今回の新規クラブの活動場所も決まっていますが、絶対に中学校でやらなければならないというルールがあるのでしょうか。例えば小学校でしたら石浜西だったり卯ノ里だったり、町内の小学校でクラブができる施設があると思いますが、中学校でなくてはダメという決まりがあるのでしょうか。
- 事務局・・・ 基本的に、小学校にはもともと土日に部活動がないので、終日、学校開放という事業で施設を貸し出しており、すでにいろいろな団体が活動しています。もし、地域クラブを小学校でやろうとすると、団体に移動もしくは活動の中止をしてもらう必要があります。よって、今は外部団体が活動していない中学校の施設を使うことにしています。このまま地域クラブが発展して行って、場所が必要だとなったときには、種目によってはそういった選択をせざる負えないことはあるかと思えます。バスケットボールのように、小学校だとゴールの高さが違うため、実施ができないという条件もありますが、種目によってはそういったことも可能性としてはあると考えています。
- 委員・・・ 毎回現場を見に行っているという話だったので、事務局がどのように動いていて、負担がどうなっているのか気になります。もう一つは、先生方の解放感というか、実際の土日の部活がなくなって、学校の先生方の負担が軽減されたのか気になります。また、事故とか怪我が多分書いてないからそういうことは起こってないと思うのですが、もうそういうことがあったのか教えてください。それから、会計の実務が、今どうなっているのかという点を教えてもらいたいと思います。
- 事務局・・・ 学校の先生方の負担の部分は後ほど、学校長に聞いてみたいと思います。事務局の負担については、やむおえない部分ではありますが、名簿と鍵を活動日の朝、指導者に取りに来てもらっているのですが、事務所で待機して、指導者に取りに来てたら名簿と鍵を渡して、全部のクラブが来たら活動場所を回り、それぞれ話を聞きながら、最後施錠確認をして戻るということを続けています。最近は他のイベントと重なり、行けない日もあるので申し訳なく思っていますが、可能な限り行くようにしています。今後は、地域クラブの業務に携わってもらおう会計年

度任用職員を採用し、私と交代で土日の巡回だとか、緊急時の対応等を行うような仕組みを作ろうと思っています。事故や怪我については、今のところ聞いているのは1件で、ボールを投げるときに爪がひっかかって割れてしまったというものでした。病気の方では、学校を木曜日と金曜日休んで、土曜日に参加した子が活動中に気持ちが悪くなって休んで、保護者の方に迎えにきてもらったということがありました。私たちが把握しているのはそれだけです。会計の事務については、今現在は、指導者に指導してもらったら指導者認定証にQRコードがついているので、そこから実際従事した時間を報告してもらっています。もともと代表者の方から誰が従事するかを聞いているので、その人の報告があるかを確認して、報告漏れがあったら連絡して出してもらうなどを行いながら業務時間等をまとめています。これも11月以降、会計年度職員が採用出来たら、分担して従事していきたいと思っています。あと参加費の受付については、受付はこの体育館ですべてやっています。その場合は私だけではなく職員がいるので、領収書の扱い方などを周知して、全員で対応しています。支払い方については、まず9月分の500円払いか、令和5年度分の3,500円払いかを選択してもらい、500円を払った人には500円の領収書、3,500円を払った人には3,500円の領収書を発行しました。500円払いの人で継続する方には9月末までに残りの分を払って下さいというかたちで、払ってもらっています。

学校の様子については、また学校長にお願いしてよろしいですか。

委員・・・

学校で部活動をやっているときは、正顧問、副顧問とかは土曜日とか日曜日どちらか毎回やっていました。今は、大会があれば行きますけど、それ以外はなくなってとても喜んでます。普通のいわゆる週休2日のような普通の働き方になってきたと思います。地域クラブの活動もありますけど、土日やらなくなったということはとてもいいと自分は思っています。いろんな課題はありますが、そういう状況です。こちらからも1点意見を言ってもいいですか。吹奏楽のセキュリティ対策と書いてありますが、部活をやっていた時も、学校のセコムを開けて、例えば吹奏楽部だとみんなが入ったら鍵閉めて、外部から入られないという形でやっていました。うちのセコムの図をもらったのですが、よく分からなくて、この前、学校教育課にも聞きに行ったのですが、よく分からないってことで、狭くなるような気がするから、そんなにセコムの変更をやらなくてもいいのかなと思っています。今、吹奏楽部の親が任意で立ち上げてやっていますが、学校と同

じセコムを使って、ここからここまでが範囲だよという形でやっているの、そういった考えもありなのかなと思います。その防犯が何を指して防犯というのが分からないのですが、外部ということだったら、部活動と同じような方法でも（教室はちょっと私物がありますのでなかなか難しいところがあるんですが）やれるのかな、学校側の見方としてはそういう意見です。

事務局・・・ 狭いという意見がありました、記憶の中では、学校からいろいろなところに入られると困るというような意見が過去にあったと思います。よって、鍵がすべてかけられず、廊下にも私物が置いてあるところもあり、オープンスペースのところもあるという状況だと、どこに入られるかわからないので、活動場所を限定してセコムを設定するという方向で考えています。

会長・・・ 他に質問や意見はありますか。

委員・・・ 少し戻りますが、資料1で柔道クラブの参加者が2名、6名、5名、1名という流れになっておりますが、もしゼロになったら地域クラブはなくなるという考え方なのでしょうか。ということと、もしそれを再開する場合はどういうふうになるのかということをお教えももらいたいです。

事務局・・・ 募集時に参加予定のクラブについては確認していますが、会員であれば誰でも参加できる制度なので、会員がいる限りは続ける予定です。しかし、ずっとゼロが続くようなら、相談をして休止もしくは廃止することも考えなければいけないと思っています。

委員・・・ まだ2か月ほどですから、そんなに動きはないと思うのですが、もし廃止したときに、もう1回再開するということはどういうふうになるのか、何か考えているのか教えてください。

事務局・・・ 極力、立ち上げたものをすぐに廃止にすることはしたくないので、年度が変わり、小学生が中学校に入ってくるころでの変化に期待し、なるべく廃止というよりは休止して様子を見て、いつでも活動が再開できるように残していけたらと思っています。先ほど言ったようにゼロがずっと続くと、その分、指導者の方に来ていただいてお金を払うことになるので、受益者の負担が大きくなることにもつながっ

てしまいます。資料1の一番下に書いたとおり、参加者があまり見込めないクラブになってきた場合は、活動の休止も指導者の方に相談しながら進めなければいけないというふうには思っています。

委員・・・ 曜日の設定は誰が行っているのか、いつ誰が行っているのか教えてください。

事務局・・・ 今のところスポーツに関しては私が案を出しています。指導者の方に人材バンクに登録をしてもらうときに、活動可能な日付や時間を出してもらっているので、一番多くの方が参加できる時間でまず設定しています。その後、学校に確認して、許可が出た日に設定するようにしています。

委員・・・ 複数の指導者の方がいるということですが、例えば活動が終わってからの反省会などを、先行するこの5つの地域クラブでは行っているか教えてください。

委員・・・ 私は、サッカークラブで指導者をしているので報告をさせていただきます。今は、3名体制プラス1名、私が空いている時間は4名の体制で活動しています。早めに行って指導者と多少すり合わせをしています。終わった後の反省会は、5分～10分の程度ですが行っています。他のクラブも多分やっていると思いますが、当然近い間柄ではないので、基本は3時間の枠の中で、会員に対してのケアとかトレーニングの内容とかを少しずつ話をして、指導者同士が少しずつコミュニケーションを取りながらやっています。先日の日曜日は参加者がゼロでした。しかし、解散までの1時間は、まったく何もせずに、「おはようございます。さようなら。」というわけではなく、いろいろコミュニケーションを取って共通認識を図っています。

委員・・・ ハンドボールクラブの指導者をしていますが、同じように、やる前と終わった後は必ず打ち合わせをしています。練習前の準備をしながらコーチ陣と今日こういうふうやっていく、先週はこういうふうやってきたから、その続きとしてやっていこうなど、そういう打ち合わせをしています。練習が終わってからは、今日はこういうことやったけど、「ちょっと、この子たちにはレベルが高かったかな」とか「ちょっと物足りなかったかな」「ちょっと言葉を間違えたかな」とか、

そんなことを喋りながら必ずやっています。それがないと成り立っていきません。

委員・・・ バスケットボールクラブの指導者をしています。まず、スタートでは全員で今日は何をやりましょうから話します。ある程度メニューが決められたストーリーがあるので、それをまずやってみると、終了後には、またお互い「今日はどうだった」という話をして、今度こんなメニューをやろうといういろいろな案を出しています。

会長・・・ 本当に指導者たちの活躍がすごいと感じました。これで報告事項を終了して2の「その他」に移ります。事務局からお願いします。

事務局・・・ 協議会の委員についてです。公募委員については、今後また募集をかけさせてもらいます。また、今年度は、もう1回協議会を予定しています。時期は2月頃を想定しています。立ち上げた追加クラブの様子等の報告も含めて報告したいと思います。

会長・・・ 「その他」について質問があればお願いします。

委員・・・ 要望ですが、前にも言いましたが、この先のビジョンがほしいです。3～4年先がどんな感じになると想定しているのかということは知りたいので、第4回には出してもらえるとよいと思います。合わせて、この「ひがしうら地域クラブ」を取り仕切っているのは誰なのかということがよく分からなくて、「ひがしうら地域クラブ」は文化もスポーツも入っているなら、それを取り仕切っているトップは誰なのか、組織の構成が分かるものがあるといいと思います。さっきのビジョンの話なぜしたかという、今の6年生が中学校へ入ってくる時や入学説明会で、当然部活動の話をするので、その子たちにどうしていくとよいかという話がなかなかできないからです。一つの例としては、その子たちが3年生になった令和8年度の大会は「学校から出るのか」とか。これはビジョンのひとつですが、そういったところがこういう場で話しながら意見がもらえるとよいと思います。また、5年生の子だと令和9年ですけど、そういったところぐらいまでは見据えないといけないと思います。あっと、1点、先ほどバスケットボールクラブは練習試合等への要望があると言っていて、他の学校の生徒が来るのはちょっとみたいなのがあったのですが、問題がありますか。何か理由があるなら、言ってもらえればいいです。

- 事務局・・・ まだ学校に相談していないということです。
- 委員・・・ やれるのであったら呼んでやれば良いと思うので、ぜひ、やってください。そう思います。
- 事務局・・・ 「ひがしうら地域クラブ」としては、東浦町内の中学生のために施設を使わせてほしいということしか今までは学校に伝えていなかったの
で、しっかり許可をとってからにしようと考えていました。
- 委員・・・ 物理的には他校を呼んでもいいということですか。
- 事務局・・・ 校長先生自身がそう言うのであれば、相手がちゃんと保険等に入っていれば、物理的には可能だと思います。
- 事務局・・・ 今の意見の中のビジョンについてですが、まだ活動を始めて2か月ですが、様子等も踏まえながら将来的なことを考えているところなので、次回の時にはある程度のお示ししたいと考えています。それに合わせて組織体制についても示していきたいと考えています。
- 会長・・・ その他、意見があればお願いします。
- 委員・・・ 中学校のボールとか道具を借りているということですが、メンテナンス費用というのは、原則として学校がもつということになるのかどうかということと、もし、ボールを飛ばしてガラスを割ってしまったような場合はどうなるのか知りたい。そういうことは予算化されているのか知りたい。
- 事務局・・・ 昨年度までの話し合いでは、町でそれらを予算として取ることが難しい状態だということを伝えた上で、地域クラブを何とか立ち上げてほしいということで、原則としては、部活動のものとして学校が補填してくれるということになっています。現状、そのような状況が起こっていないので、場合によっては町が補填したり、学校が補填したりという状況になるかもしれませんが、昨年度の打ち合わせではそのように決まっていました。
- 委員・・・ 別件で要望ですが、小学校で楽器が使われてないという状況にあるということなので、何とかメンテナンスをして楽器が使えるようにして

ほしいです。いくつかの小学校の楽器で、使えそうな楽器を文化センターに集めてもらったので、一応ボランティアでピストンが動かないとか、素人でもできるようなものについてはメンテナンスをして、20台ぐらいは使えるようになりました。その関係で、文化センターが開催した「子供吹奏楽教室」を、その楽器を使って開催することができました。こんな状況があるので、まだ、小学校に未使用の楽器がいくつかあり、非常にもったいないので、できれば文化センターに集めてメンテナンスをして、使える状態してもらいたいです。文化センターにおいても使う人がいなければ、また同じようなことになってしまうので、場合によっては各学校にその楽器を回すというようなことも教育委員会で検討してほしいです。また、今後もメンテナンスの費用がかかってくるので、そういう費用を予算化してほしいです。

事務局・・・

各小学校の方の楽器については、先ほども話があった通り、必要なものは生涯学習課で状況確認をして、一部を運び入れています。一部学校の方にも残っているものがあるのですが、それについてはどういう取り扱いになるかというのは、今のところは明確には決まっておりません。

閉会

午後8時30分

会議録作成者 東浦町部活動の地域移行推進協議会事務局